

三宮センター街草創期の 苦勞を話し合う長老たち



△右から▽

山下編集主任

東中清一氏

北森愛紹氏

大石雄三氏

長沢堅次氏

上田数平氏

西岡精一郎氏

(昭和五十二年
九月十九日

二丁目事務所で)

◆資料を提供して下さった方々並びにご助言を賜った方々

荒尾親成氏 加藤隆久氏 山田芳信氏 川西 英氏 川西祐三郎氏 山内鶴雄氏

上田数平氏 大石雄三氏 川飛満祐氏 そごう神戸店殿 月刊センター編集室殿

北森愛紹氏 坂本正三氏 作田森義氏

◆出典

柴本 実氏 田路茂夫氏 田所新三氏 神戸のあゆみ／市制七〇周年

東中清一氏 長沢堅次氏 西岡精一郎氏 神戸古今の姿 昭和四年刊

早水敬治氏 原田幹夫氏 矢野 正氏

月刊センター No.1～No.280

編集を終えて

(本地スマ子)

センター街の三十年史を作ることになったが、私には少々重荷に感じられた。というのは発会当時から三十年までの記録がないので、その期間をどのように書きおこしたらよいか、見当が付きにくかったからである。

空襲で焼かれて、凡てが無であった町角の瓦礫を、一つ一つ手で片付けながら、柱一本トタン一枚探し回って、やっとバラックが建つ。情景や物語りとしては鮮明に脳裏に描くことが出来るし「センター」にも幾度か紹介したけれども、それは年史ではない。

幸い町作りに心血を注がれた先駆者たちが健在なのでこの方々に尋ねて回り、ここにお集りの皆さん方にもお話を伺い、特に田路茂夫氏がメモして下さったものを参考にさせて頂いて、創立から確立の時代を書き上げた。

しかし三十年間の変遷は余りにも激しく、最初に立った木柱街路燈一本の値段は七十円か七百元か、どちらとも結論が出なかつたりすることもある。経費その他数字に関しては明確な記載が出来なかつた。

三十年以後についても執筆期間が短かつたので、推敲の余裕がなく、書きながしのまま印刷に回す状態で、文面割付、その他粗雑に流れ、見苦しい点が多いと思いますが、ご忌憚なきご高評を賜りますようお願い申し上げます。

制作・編集 月刊センター編集室

△スタッフ▽

田坂修一 田中徳喜

納 健 永井文明

河田博敏 本地真穂 安原妙子

製版 株式会社神戸印刷センター

三和写真製版株式会社